

INDEX =====

★GC-JN からのお知らせ★

- GC-JN 会員数最新情報(2014 年 11 月 27 日時点)
- 【満員御礼】12 月 9 日(火)2014 年度 GC-JN シンポジウム開催
- 【報告】CSR セミナー開催のご報告
- 【報告】COP とロゴ説明会実施のご報告
- 【報告】日中韓ラウンドテーブル報告書(英語版)発行のお知らせ

★UNGC の最近の動き★

- 世界の会員数最新情報(2014 年 10 月 31 日時点)
- [Monthly Bulletin 11 月号より]
- UNGC ワーキンググループ「Human Rights and Labour」に日本より新しいメンバーが参加

★GC-JN からのお知らせ★

○GC-JN 会員数最新情報(2014 年 11 月 27 日時点)

GC-JN 会員数 195 団体および企業
アソシエイト会員 5 企業

○【満員御礼】12 月 9 日(火)2014 年度 GC-JN シンポジウム開催

11 月上旬の参加申込受付開始以降、多数の皆様にご参加申込を頂戴し、会場の定員に達しました為、参加受付を終了致しました。本シンポジウムへの皆様のご期待に添えるよう引き続き準備に全力を注いでまいります。プログラムの概要については、下記のとおりです。

- 日時:12 月 9 日(火)13:30-17:30 終了後交流会を予定しております。
- 場所:東京ウィメンズプラザ(渋谷区神宮前、表参道駅)
- テーマ:「これからの企業経営における ESG 情報開示の重要性について
～日本版スチュワードシップコード以降の事業会社の対応と課題～」
- アジェンダ:(※時間を含め、詳細は今後変更の可能性があります。)

時間	プログラム
13:30～13:40	開会ご挨拶 GC-JN 有馬代表理事
13:40～14:20	基調講演 『「伊藤レポート」の背景と狙い』 一橋大学大学院商学研究科教授 伊藤 邦雄 氏 ※基調講演でご登壇いただく伊藤教授を座長としてとりまとめられた伊藤レポートについては、経産省のサイトをご参照ください。(http://www.meti.go.jp/press/2014/08/20140806002/20140806002.html)
14:20～15:00	講演

	『コーポレート・ガバナンス向上に向けた取組みについて～「日本版ステュワードシップ・コード」を中心に～』 金融庁総務企画局企画課保険企画室総括課長補佐(前総務企画局企業開示課課長補佐) 笠原 基和 氏
15:00～15:30	講演 『統合報告によるESG情報開示の意義について～企業価値を伝える手段として～』 オムロン株式会社 執行役員 経営 IR 室長 安藤 聡 氏
15:30～15:45	休憩
15:45～17:00	パネルディスカッション 『ESG 情報開示にどう取り組むか?～バランスのとれた情報開示に向けて～』 パネリスト: オムロン株式会社 執行役員 経営 IR 室長 安藤 聡 氏 ナブテスコ株式会社 総務・人事本部 総務部長 松本 敏裕 氏 イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部長 金丸 治子 氏 伊藤忠商事株式会社 広報部 CSR・地球環境室長 小野 博也 氏 三井住友信託銀行 経営企画部 理事・CSR 担当部長 金井 司 氏 モデレーター: 株式会社大和総研 調査本部 主席研究員 河口 真理子 氏
17:00～17:10	総括コメント GC-JN 後藤理事
17:10～17:25	事務局より GC-JN 事務局長 名取
17:25～17:30	閉会

○【報告】CSR セミナー開催のご報告

11月14日(金)、キッコーマンさんの会場をお借りして「CSR セミナー～GC ジレンマゲームを通じた国連 GC の社内浸透～」を開催しました。

GC および GC-JN について名取事務局長から非会員の皆様にご説明するパート以外は、いつもの講演中心のセミナーとは少し趣を変え、ジレンマゲーム実践を通して皆様に楽しさを実感していただき、各社に持ち帰って社内浸透ツールとして活用いただきたい、というのが今回の目的です。

*ジレンマゲームとは、デンマークのKPMG社がGC10周年を記念して開発したボードゲームです。企業があるジレンマに直面した時、その経営判断がステークホルダー(従業員、株主、消費者、NGO、地域住民)にどのような影響を与えるかということをゲーム参加者が各役割を演じながら様々な視点を学ぶことができます。

この度はKPMG Japanのパートナー船越氏およびマネージャー加藤氏をお招きして、ゲーム実践のファシリテートをしていただきました。会員・アソシエイト・署名ご検討者を含む51名のご参加者の皆様が、時には消費者として笑顔で賞賛し、時にはNGOとして真剣な眼差しで苦言を呈すなど、役割になりきってゲームを実践し、活発な会話が生まれている様子に、運営者一同、とても嬉しく思いました。

ゲーム実践・レビューの後は伊藤忠商事の小野さんに社内活用事例をご紹介いただいて終了となりましたが、参加者の皆様からは満足度平均 95%のアンケート結果とともに、「ステークホルダーとの関係を身をもって体感

することが出来た」「経営とCSRが直結していることがわかった」「弊社仕様のステークホルダーに変えて早速実践したい」などの感想をたくさん頂戴することが出来ました。

当セミナーはGC-JN 会員さんの質量向上を図る組織拡大委員会の企画・運営イベントでしたが、委員である伊藤忠商事、キッコーマン、東芝 3 社の皆様の様々な知見が結集され、充実した有意義な機会となりましたこと、改めて御礼申し上げます。

この度ご参加された皆様も、ご参加が叶わなかった皆様も、またの機会に是非、お越しく下さい。

当日の様子は[こちら](#)

○【報告】COP とロゴ説明会実施のご報告

10月17日の関西分科会に続き、11月21日、26日の両日人権ライブラリーにてCOPとロゴ説明会を実施し、両日で41社46名にご参加頂きました。GCとGC-JNのご紹介となぜCOPを提出しなければならないのかCOPの本質をご説明したのち、具体的なCOP説明、提出実務の手順をご説明しました。また、本年より導入されたJNサポートロゴと、その他のGCロゴについても詳しくご説明いたしました。

○【報告】日中韓ラウンドテーブル報告書(英語版)発行のお知らせ

8月27-29日に開催いたしました日中韓ラウンドテーブルの報告書(英語版)を発行しました。

⇒報告書(日本語/英語版)は[こちら](#)

★UNGCの最近の動き★

○世界の会員数最新情報(2014年10月31日時点)

- ・Business sector 8,265(新規150社)
- ・Non-Business sector 4,422(新規33団体)

[Monthly Bulletin 11月号より]

○UNGCワーキンググループ「Human Rights and Labour」に日本より新しいメンバーが参加

2014年10月、GCワーキンググループの一つである「Human Rights and Labour」に新たに6メンバーが加わりましたが、その一つはGC-JNのパートナー・EY総合研究所が属するErnest&Young Japanさんです。日本企業の参加は、今までの日立製作所さんに加え、2社となります。

全53参加者リストは[こちら](#)

著者:(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク 事務局

編集:(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク 事務局

【お問合せ先】

(社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク

TEL:03-5412-7235 FAX:03-5412-5931 Email:gcjnoffice@ungcjin.net

©2014 Global Compact Japan Network all rights reserved.